

# 淀川水系流域シンポジウム

# わたしたちが変える『琵琶湖・淀川の未来』

平成14年6月23日(日) 14:00~16:30(13:30開場)  
京都府会館第二ホール

主催 淀川水系流域委員会

## プログラム

# GRAM

13:30	開場
14:00	開会『あいさつ』 淀川水系流域委員会委員長 芦田 和男(京都大学名誉教授、財団法人河川環境管理財団研究顧問)
	『淀川水系流域委員会からの報告』 淀川水系流域委員会淀川部会会長 寺田 武彦(弁護士、日弁連公害対策・環境保全委員会元委員長、龍谷大学法学部教授)
14:20	『パネルディスカッション』 パネリスト 遙 洋子(タレント) 池淵 周一(委員会委員・猪名川部会会長代理) 嘉田 由紀子(委員会委員・琵琶湖部会委員) 川上 聡(委員会委員・淀川部会委員) コーディネーター 近藤 三津枝(ジャーナリスト)
途中休憩あり	
16:30	閉会

## プロフィール

# FILE

### 淀川水系流域委員会からの報告/報告者



#### 寺田 武彦

委員会委員・淀川部会会長 たらだ たけひこ

(弁護士、日弁連公害対策・環境保全委員会元委員長、龍谷大学法学部教授)

京都市生まれ。'76年より、日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会の委員として、森林・河川・廃棄物等の公害環境問題にかかわる。'88、'89、'91年の3回熱帯林問題調査団長として、マレーシア半島及びボルネオ島、サラワク州に入り、'92年地球サミットに日弁連代表団として参加。'95年、米国ダム問題調査団長としてアメリカのダムをまわる。



#### 嘉田 由紀子

委員会委員・琵琶湖部会委員 かだ ゆきこ

(京都精華大学教授、琵琶湖博物館研究顧問、水と文化研究会世話役) 埼玉県生まれ。農学博士。日本、アフリカ、アメリカなどの地域社会研究の中で人と水のかかわりを研究。環境問題は人間の社会や文化の問題と深くつながることを意識し、琵琶湖博物館の創設を提案。また、自ら、地域の人たちに教えてもらうフィールドワークを行うと同時に、地域の人たちと足下を見直す住民参加型研究を提案・実践している。著書に「水辺暮らしの環境学」「環境社会学」などがある。

### パネルディスカッション/パネリスト



#### 遙 洋子

はるか ようこ

(タレント)

大阪府出身。'86年のタレントデビュー後、数々のテレビ・ラジオ番組に出演。また、新聞にコラムを執筆するなど多方面で活躍している。'97年から3年間、東京大学で社会学を学び、その後著した「東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ」がベストセラーに。その他の著書に、「介護と恋愛」「結婚しません。」「働く女は敵ばかり」「野球は阪神 私は独身」などがある。また、日経ビジネスで「働く女の眼」を連載。働く女性の立場から自分らしく生きることへの思いをストレートに語る姿勢が多くの人々に支持され、注目を集めている。現在のレギュラー番組は「2時ドッキリ」など。



#### 川上 聡

委員会委員・淀川部会委員 かわかみ あきら

(川の会・名張、近畿水の整理師、三重大学人文学部(地誌系)非常勤講師(流域社会システム論)) 大阪市生まれ。'89年「名張の川を守る会」(現「川の会・名張」)を結成し、水環境保全の市民活動を通じて自立した市民による流域社会の形成・上下連携の実現・パートナーシップ型水環境改善事業等を進めている。木津川～淀川流域河川の水質・生物調査、シンポジウムの開催、国際交流、そして、川に学ぶ体験活動協議会理事として、川での環境・体験・安全学習の指導や講演活動を行っている。

### パネルディスカッション/コーディネーター



#### 近藤 三津枝

こんどう みつえ

(ジャーナリスト)

兵庫県芦屋市生まれ。甲南女子大学文学部英文科卒業。経済・環境問題をテーマに、国内外のエクセレント・カンパニー、ベンチャー企業等の取材を続けている。中でもアジアへのアプローチはコンスタント。テレビの経済番組のキャスターを務める一方、新聞・雑誌などの対談、記事執筆を行い、幅広い分野で活躍。食通としても知られ、関西の食文化にも造詣が深い。現在、武庫川女子大学講師、関西経済同友会 都市再生委員会 副委員長、経済産業省 地球温暖化防止対策部会 専門委員、国土交通省 新・近畿長期ビジョン懇談会 委員、他多数。



#### 池淵 周一

委員会委員・猪名川部会会長代理 いけぶち しゅういち

(京都大学防災研究所教授、附属水資源研究センター長)

兵庫県姫路市生まれ。工学博士。専門は、水文学・水資源工学、河川審議会、国土審議会、国会等移転審議会などの専門委員を歴任。現在は、土木学会水理委員会委員、水文・水資源学会理事、国土交通省近畿地方整備局紀の川流域委員会、九頭竜川流域委員会委員などを兼務。著書に「水資源工学」などがある。前京都大学防災研究所所長。